

《履修上の留意事項》【面接授業の未実施】

《担当者名》○唐津ふさ 熊谷歌織 神田直樹

【概 要】

成人期にある人を生活者として理解し、セルフケアに主眼を置いた看護を実践するために必要な基盤となる知識を学ぶ。また、成人期の生活環境、生活習慣と関連づけて健康問題を学習し、健康障害を持つ成人に関わる際の主要概念について学ぶ。

【学習目標】

1. 成人期にある人を生活者として理解するために、成人期の特徴と成人各期の発達課題、健康問題を説明できる。
2. 健康障害を持つ成人に関わるうえで基盤となる主要概念を説明できる。
3. 健康状態に応じた看護を実践するために、各期の特徴と看護の概要を説明できる。
4. セルフケアに主眼を置いた看護を実践するために、セルフケアの概念とオレム理論の枠組みを説明できる。
5. 社会ニーズに応えるための看護の役割を説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	成人期の位置づけ	ライフサイクルから見た成人期の位置づけ	唐津
2	成人期の特徴	成長・発達過程からみた成人期の特徴	唐津
3	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策①	生活者として多様なライフスタイルを持つ成人 家族との関係	唐津
4	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策②	保健統計からみた健康の動向 成人各期に特徴的な健康問題 保健・医療・福祉政策	唐津
5	健康障害を持つ成人に関わる際の基本的視点	健康生活を支える人間関係の構築 患者・家族の意思決定支援	唐津
6	健康障害を持つ成人に関わる際の主要概念	健康の危機状況への適応 ストレスコーピング、危機理論	神田
7	健康障害を持つ成人に関わる際の主要概念	健康学習支援の基本的視点 自己効力、アンドラゴジー、エンパワメント	神田
8	健康状態に応じた看護①	急性期の看護：健康の危機状況への支援 急性期の特徴及び治療と看護 家族の体験と支援	神田
9	健康状態に応じた看護②	慢性期の看護：健康生活の継続への支援 生活者にとっての病い	唐津
10	健康状態に応じた看護③	慢性期の特徴と自己管理・生活調整への支援 リハビリテーションを必要とする成人の生活再構築への支援	唐津
11	健康状態に応じた看護④	終末期の看護：人生の最後を迎える人と家族への支援	熊谷
12	高度看護実践の現状と課題	社会ニーズと認定看護師、専門看護師の役割と活動	神田
13	地域・在宅への継続医療と看護	成人期にある人々の療養の場と退院支援	熊谷

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
14	セルフケア論①	セルフケアの概念 オレム理論の枠組み	熊谷
15	セルフケア論②	成人期の生活状況とセルフケア行動	熊谷

【評価方法】

課題20%、定期試験80%

課題等のフィードバック：各回の授業でコメントする。

【備考】

教科書：新体系看護学全書 成人看護学① 成人看護学概論 成人保健，メヂカルフレンド社

参考書：その都度，資料を配付する。

【学習の準備】

予習：授業前に教科書の該当箇所を読み，問題意識を持って授業に臨むこと。（60分）

復習：各回の授業資料，教科書の該当箇所の内容を振り返り、まとめること。（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 1, 4

【実務経験】

唐津ふさ（看護師），熊谷歌織（看護師），神田直樹（看護師・急性重症患者専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における成人期の対象者への看護の実務経験を活かし，成人期の特徴や病期別の特徴，それらを踏まえた看護について，理解を深められるよう事例を交えながら講義を行う。